

操を守れ！ 白百合の会

現代の日本人は新婚夫婦として迎える初めての夜という感覚がない。簡単に遊び感覚で行為をしてしまう若者も多く、同時に望まない妊娠をすることが多い。その結果、母親としての自覚がないまま母親になり、子供の虐待等の不孝な結果を招くことも多い。

結婚するまでは清らかな体でいることを貫く

望まない妊娠で悲しむことがなくなる

できちゃった結婚等が当たり前の世の中はおかしい

安易な性交為で病気になる等を防止する

夫が自分の妻を誇りに思っ自らの行動もいましめることができる

白百合の会(花言葉は純潔、清純)という会をつくり、会員証も発行します。
この会員証は処女であるということを証明するものではありません。

男性から見れば、“清楚で清純な女性”だと感じられる。



あくまで結婚を前提としない性行為はもちろん、結婚するまではそのような行為は行いません。ということを宣言しましたという証明になるものです。

女性が交際を申し込まれた際には、女性はその会員証を男性に提示し、その意味を理解してもらおう。それでも交際をしたいという誠実な男性のみ、女性は受け入れても良いのではないかと思う。

考え方や生き方は様々で、もちろん強制するものではないが、古き良き時代の真の大和撫子の精神を持つ女性は、自分の人生をしんしに生きている男性にとっては魅力的な女性に映るのではないだろうか。

また、この宣伝はあくまで最終的な性行為に限定するもので、手をつないだり、キスをしたりといったことまで拒否するものではありません。

